

北海道松前町・茨城県行方市の小学校をオンラインで結ぶ 環境教育プログラム「ReENE ÉCOLE」を開催

～当社再エネ発電所のある地域同士が”脱炭素社会の実現”について学ぶ～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下「当社」）は、2025年7月10日に北海道松前町立松城小学校ならびに茨城県行方市麻生東小学校の両学校をオンラインで結び、環境教育プログラム「ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）」の授業を開催しました。本プログラムは、両地域に当社の再生可能エネルギー発電所が立地している縁から、子どもたちが地球温暖化や再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）への理解を深め、脱炭素社会の実現を自分ごととして考えるきっかけをつくることを目的に実施しました。

当日は、松城小学校の5年生12名、6年生13名、麻生東小学校の6年生26名の合計51名に参加いただきました。今回の授業では「脱炭素社会の実現と再生可能エネルギー」と題し、再エネが脱炭素社会の実現の鍵であることを解説しました。また再エネが果たす役割や当社の取り組み事例も紹介し、環境のために自分たちができることについて考えるきっかけとなるような授業を実施しました。

参加した子どもたちからは、「電気をむだに使わない」「学校の天井に太陽光パネルをはってみたい」など、今後自分たちができる取り組みについて前向きな感想が寄せられました。また、「環境にやさしいエネルギー作りにはどんなものがあるのか」「他にはどのようなことで二酸化炭素が出ているのか」など、再エネや環境問題について、さらに知識を深めたいという声も寄せられました。

当社は、こうした子どもたちの好奇心や行動意欲を大切に、今後も持続的な社会の実現を目指し、より多くの方々が環境問題を身近なものとして感じ、関心を持つきっかけとなるよう、ReENE ÉCOLEの活動を積極的に推進してまいります。



▲環境授業の様子（左：松城小学校、右：麻生東小学校、下段真ん中：当社講師）

■ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）とは



「ReENE ÉCOLE」とは、東急不動産の再生可能エネルギー事業「ReENE（リエネ）」のブランド名と、フランス語で学校・学び舎“を指す「ÉCOLE」を組み合わせ、発電所のある地域をはじめ全国の子供たちに、再生可能エネルギーを中心とした環境問題を楽しんで学んでいただくことを目的とした環境教育プログラムです。

〈実施事例〉

2024年12月、全国各地の子供たちがつながり、地球の今と未来を考えるオンライン型環境教育イベント「ReENE サミット（リエネサミット）」を開催しました。

本イベントは、子供向けの教育活動に多数の実績を誇る株式会社探究学舎とコラボし、自分たちの住むまちや地球の「いま」と「みらい」を考えてもらうことを目的として実施し、186名の方に参加申し込みをいただきました。



イベントの様子

■イベント概要

▽イベント名：ReENE ÉCOLE

▽日時：2025年7月10日（木） 13:30～14:15

▽対象：小学5・6年生

▽内容：脱炭素社会の実現と再生可能エネルギー

▽場所：オンライン

▽主催：東急不動産



東急不動産